

究極量

究極埋蔵量

究極埋蔵量 きゅうきょくまいぞうりょう

石油の埋蔵量に関しては、複数の概念が存在する。すなわち、究極量（Ultimate Reserves）、可採量（Discoverable Reserves）および既知量（Known Reserves）という概念がある。究極量は地殻内に包含される全体の量を意味するもので、可採量は究極量のうちで人類によって発見可能な量を指している。既知量というのは、すでに発見済みの量で、鉱量の性格からさらに確認量（Proved Reserves）、推定量（Probable Reserves）、予想量（Possible Reserves）といった概念が存在するが、一般的には確認量を指している。

<登録年月>

2005年05月
